

福岡県大野城市

白木原区のあゆみ



白木原公民館

2007年7月発行

和 暦	西 暦	白木原のあゆみ	大野城市のあゆみ	備 考
天智 3年	664年		唐・新羅の来襲に備えて筑紫に防と烽を配置し水城を築く	国指定特別史跡
天智 4年	665年		唐・新羅の来襲に備えて大野山頂に大野城を築く	国指定特別史跡
宝亀 5年	774年		大野山頂に円満山四王院を建立して、四天王を配置したため四王寺山と呼ぶようになった	県指定文化財雑餉隈聖観世音が開眼する
慶長 5年	1600年			黒田長政が筑前藩主となる
慶長 8年	1603年			徳川家康が江戸幕府を開く
元禄 2年	1689年	文献等によっても年代は不明であるが、青柳種信によると「白木原村は大里村と一村であって近代に別村になった」とある よって、大里村白木原となったのではないか	大里村の一村であった (白木原村、上大利村、下大利村と一村)	地祇神社建立
宝永 6年	1709年	別村により白木原村白木原となったのではないか。(上組、下組、村組、四軒家の計48戸)	大里村より分村し白木原村となる 別村となった「近年」がいつの頃であるかも詳かではないが、宝永6年には白木原の村名は既に見えている	
享保 17~18年	1732~33年	享保の大飢饉と疫病の流行で多数の餓死者が出る		
寛延 4年	1751年	二日市から博多川端までの運河は白木原の日田街道の両側の村中を通り年貢米などを舟で運んだ		
文化 9年	1812年	9月28日伊能忠敬が日本地図を作るため雑餉隈から白木原を通り二日市まで測量を行った		
天保15年	1844年	瓦田村(現白木原)で、原養純が寺子屋を開く		
弘化2年頃	1845年	白木原村庄屋、森山平が白木原、上大利の田畑の灌漑用水として、牛頸川から山ノ下にトンネルを		

		掘り、水を引く工事を行うが、黒田藩の改革で中止する		
文久年間	1861~64	筑前国続風土記拾遺に「大利、白木原は元一村なり近代別村となる」とあるが、明応8年(1499年)と天正年間(1850年頃)に白木原村と書かれた文書がある 上大利区内の三兼池の土地は白木原分の飛地である		
慶応4年	1868年			江戸を東京と改称し、明治と改元する
明治4年	1871年	廃藩置県により筑前国が福岡県となり、福岡県御笠郡白木原村となる	地祿神社「村社指定」となる	廃藩置県の詔書が出る 初代福岡県知事に有栖川宮熾仁親王が任じられる
明治6年	1873年	筑前竹槍一揆が起り、白木原1軒打ち崩しにあう		
明治7年	1874年	筒井村の筒井小学校が開校し白木原の子供も通学する(白木原、瓦田、筒井、山田、雑餉隈、仲島、畑詰) この頃白木原の戸口は47戸213人であった	乙金村に乙金小学校(中、乙金)吉松村に吉松小学校(上大利、下大利)が開校する	
明治10年	1877年	白木原森山庄太、父の志を継いで三兼導水を完成させる	下大利村に大利小学校を開校する 雑餉隈に雑餉郵便局が開局する(現博多南郵便局始まり)	
明治11年	1878年		牛頸に下等小学校を開校する	
明治19年	1886年		雑餉隈に雑餉隈警察署を設置する	
明治22年	1889年	大野村誕生時の白木原の戸数は49戸291人 御笠郡白木原村が、御笠郡大野村大字白木原となる	市制町村制の施行により大野村が誕生する 白木原、牛頸、上大利、下大利、瓦田、	九州鉄道(現JR)博多~千歳川(久留米)間開通

			筒井、山田、仲島、畑詰、中、乙金及び那珂郡井相田村の一部が合併して御笠郡大野村となる (戸数 680 戸 : 人口 3855 人)	
明治 23 年	1890 年	筒井尋常小学校と大利小学簡易科を合併して瓦田に大野尋常小学校を開校する		
明治 29 年	1896 年	御笠郡大野村白木原が筑紫郡大野村白木原となる(御笠郡、那珂郡、席田郡が合併して、筑紫郡となる)	雑餉隈警察署を廃止し、二日市警察署雑餉隈巡査駐在所を置く 牛頸巡査駐在所が落成する	
明治 30 年	1897 年	白木原(4 丁目 2 番)に一等水準点を設置する(標高 20.89m)	雑餉隈に大野税務署が開設される	
明治 36 年	1903 年		大野村是を刊行する	
明治 40 年	1907 年			義務教育年限が 6 年となる
明治 43 年	1910 年		大野村報徳青年会が創設される	
大正 1 年	1912 年		四王寺山の乙金区外 7 区共有林を大野村林に統一する	
大正 2 年	1913 年		大野村筒井、雑餉隈に初めて電灯がつく 大野尋常小学校に高等科を併設して大野尋常高等小学校と改称する	国鉄(JR)水城駅が開業する
大正 3 年	1914 年	白木原、瓦田地区に電灯がついた		第 1 次世界大戦始まる
大正 6 年	1917 年	この頃公民館の前身である白木原倶楽部(集会所)が建設される(4 丁目松島商店の裏側付近)	この頃大野村の各集落に倶楽部が建設される 青年宿ともいわれ青年が当番で寝泊りしていた 戸主会、壮年会、主婦会、青年会、処女会、児童会などの集会の場所であった	

			現在の公民館の前身である 筑紫実業女学校(筑紫中央高校の前身)が 現 J R 南福岡駅前に、大野、那珂、日佐、 春日の 4 ケ村立で開校する	
大正 9 年	1 9 2 0 年		筑紫実業女学校を筑紫郡立とする	
大正 1 0 年	1 9 2 1 年		水城跡が国の史跡に指定される	
大正 1 2 年	1 9 2 3 年		筑紫実業女学校を県立に移管する	郡制廃止法が施行される
大正 1 3 年	1 9 2 4 年		九州鉄道株式会社(現西鉄)が福岡～久留 米間に開業する 下大利、春日原駅開業	
大正 1 4 年	1 9 2 5 年		牛頸の郡有林 52 町余を買収して大野村 林とする	
大正 1 5 年	1 9 2 6 年	大野村に電話が開通する		12 月 25 日昭和と改元する
昭和 2 年	1 9 2 7 年			筑紫中学校(現筑紫丘高)が開 校する
昭和 5 年	1 9 3 0 年			NHK 福岡放送局(ラジオ)が 放送を開始する
昭和 7 年	1 9 3 2 年		旧国道 3 号線(現県道 112 号線)が開通す る 大野城跡が国の史跡に指定される	5.15 事件起る
昭和 1 0 年	1 9 3 5 年	白木原大日堂を瓦田に移転させる		
昭和 1 1 年	1 9 3 6 年	宮田自転車工場誘致のため国道 3 号線から工場入 口までの 180m の村道を開設する(現ベース通り の始まり) 宮田自転車白木原工場落成式		2.26 事件起る 福岡雁の巣飛行場が開場す る

昭和13年	1939年			石油不足のため、木炭バス試運転を行う
昭和16年	1941年	宮田自動車工場を軍需工場福岡精工所が買収 飛行機部品や魚雷の製造を始める	大野、牛頸の小学校を国民学校と改称する 筑前大野郵便局が開局される	関門鉄道トンネル開通する 太平洋戦争が起る
昭和18年	1943年	福岡精工所従業員の通勤時だけ、西鉄白木原臨時停留所(土盛)が出来る 福岡精工所が白木原に徴用工員宿舎、井ノ口に工員社宅を建てる		
昭和19年	1944年	白木原(1丁目 5・15)に福岡精工所勤労働員女子学生寮を建設する(現在の西日本シティ銀行)		
昭和20年	1945年	福岡精工所が釜蓋に疎開工場を作る 白木原の福岡精工所跡に米占領軍が進駐する 西鉄白木原駅仮設停留所は米占領軍人とその家族だけが乗降出来る専用駅となる		太平洋戦争終結
昭和21年	1946年	福岡簡易保険局が白木原福岡精工所跡に移転してくる 占領軍基地引込線のための白木原信号所を開設する(現JR大野城駅の前身) 西鉄白木原仮設停留所に福岡簡易保険局員の通勤時だけの乗降が出来るようになる		戦後初の総選挙で婦人議員誕生
昭和22年	1947年		国民学校は小学校となり、大野小学校が誕生する	6.3.3 制の学校教育法を公布する 日本国憲法を施行する
昭和23年	1948年	大野中学校校舎に白木原の福岡精工所を買収して独立校舎竣工する	雑餉隈子供の会が発足する	

昭和24年	1949年	白木原の精工所跡に一時移転していた簡易保険局が百道に帰り、その後に福岡県道路機械事務所が入る この頃福岡精工所勤労女子学生寮跡に福岡県身体障害者授産所が開設する	大野村公民館条例を公布施行する 役場に大野村公民館を置き公民館主事を任命する(初代山上宗太郎)	社会教育法が公布施行される
昭和25年	1950年	白木原倶楽部(集会所)を白木原公民館と改称する 西鉄白木原駅が一般日本人も乗降できるようになる	大野村公民館報第1号を発行する 町制を施行して大野町となる (戸数 1928 戸 : 人口 10192 人) 各区の倶楽部集会所駐在員宅を利用して公民分館とし、区ごとの公民館組織を結成する	満年齢を実施する 朝鮮戦争が起る
昭和26年	1951年	西鉄電車のダイヤに始めて白木原駅の名が出る	大野町高等文化学院を開設する	
昭和27年	1952年	福岡精工所が9月総会を以って完全閉鎖する	大野町教育委員会が発足する 大野町青年学校を開設する	地祿神社「宗教法人法」承認
昭和28年	1953年		大野町(中央)公民館が竣工する 大野城跡、水城跡が国の特別史跡に指定される 大野町公民館が優良公民館として県教委から表彰される	NHK東京テレビ、放送開始
昭和30年	1955年		筑紫中央高等学校が麦野から下大利に全面移転する	福岡地方事務所の開所式を行う
昭和31年	1956年	昭和15年から始まった春日原土地区画整理完了し、春日町分と白木原、瓦田、筒井、雑餉の区画一部を交換する	大野小学校の要請により、全町各区子ども会が発足する	NHK福岡がテレビ放送を開始する
昭和33年	1958年	白木原の県身体障害者授産所が瓦田の蚕業試験場移転跡地に移る		関門国道トンネルが開通する

		博多どんたくが白木原を経由して春日原米軍基地を訪問する		福岡スポーツセンターで大相撲九州場所が始まる 一万円札が発行される
昭和35年	1960年		大野町役場が瓦田から蚕業試験場跡の曙町2丁目14に移転する 大野町農協の有線放送が開通する 牛頸竹田家所蔵文書が県文化財に指定される	
昭和36年	1961年	国鉄(JR)白木原駅が開業する		
昭和37年	1962年	白木原交差点(国道3号線)に信号機がつく		
昭和38年	1963年	戦後の農地改革により、神田の区所有が出来なくなり、売却処分した代金で福岡県身障者授産所を買収し、白木原公民館を新築落成する(木造)		国鉄新博多駅落成開業する
昭和39年	1964年	西鉄白木原駅改築工事が竣工する(広さ所要経費負担割合等、39年1月1日付け館報記載) 白木原公民館が優良公民館として県公民館連絡協議会から表彰される	大野町老人クラブ発会式を行う	
昭和40年	1965年	白木原子ども会が知事表彰を受ける	大野町上水道竣工式を行う	
昭和41年	1966年	白木原区の小字を廃止する	各区公民館に主事を設置する	
昭和43年	1968年		大野町公民館が大野町中央公民館と改称する 大野町の人口が3万人になる	郵便番号制度が始まる 明治100年記念式典が東京で開催
昭和45年	1970年	御笠川に白鳥橋が竣工する (戸数1215戸：人口4190人)	雑餉隈聖観世音が県文化財に指定される 町制20周年を記念して、大野町章を決	

			める 春日大野消防組合が発足する	
昭和46年	1971年		大野町が優良町として全国町村会から表彰される 大野町中央公民館が曙町2丁目14・1に新築落成する	
昭和47年	1972年	白木原駅(JR)からの米軍専用線を廃止する	市制を施行して大野城市となる (戸数9740戸：人口36757人) 進駐軍板付基地春日原ベースが返還される 大野城市中央公民館が文部大臣表彰を受ける	筒井の井戸が県文化財に指定される
昭和48年	1973年	白木原児童体育館が竣工する(現中央コミュニティセンター) 白木原～乙金間の西鉄バス路線が開通する		
昭和49年	1974年	白木原公民館が鉄筋造へ改築竣工する (戸数1330戸：人口4447人)	(戸数12597戸：人口44993人)	
昭和50年	1975年		市の木に「くろがねもち」、市の花に「ききょう」を決定する	山陽新幹線が博多まで開通する 九州縦貫自動車道が古賀～鳥栖間開通する
昭和52年	1977年	筑紫野警察署白木原派出所が新設される	大野城市が自治大臣賞を受ける 大野所市市民憲章を制定する	国道3号線南バイパスが開通する
昭和54年	1979年	(戸数1449戸：人口4290人)	大野城市役所新庁舎で執務を開始する (戸数19140戸：人口61377人)	福岡市内電車前面廃止される
昭和55年	1980年	西鉄白木原駅に車椅子専用スロープと自転車置場		

		を設置する		
昭和56年	1981年	公民館別館を新築		
昭和58年	1983年	白木原に福岡県筑紫総合庁舎が落成する 白木原の住居表示を実施する		福岡市市営地下鉄1号線が開通する
昭和59年	1984年	中央の住居表示を行う 白木原の一部に下水道処理を開始する		
昭和61年	1985年	白木原集会所が落成する (戸数 1606 戸 : 人口 4386 人) 白木原1～5丁目住居表示を実施する	国鉄立体交差春日大橋が開通する	徳府地下道(歩道) が完成する
昭和63年	1988年		市民の歌「大野城賛歌」の発表会を行う	
平成 1年	1989年	J R 白木原駅を大野城駅に改称する	筑紫財務事務所を白木原総合庁舎に設ける	
平成 2年	1990年	J R 大野城駅の橋上新駅が落成する J R 大野城駅前広場の拡張工事を行う 白木原公民館が優良公民館として、県公民館連絡協議会から表彰される (戸数 1713 戸 : 人口 4330 人)	大野城市史(民族編)刊行する 市民図書館、歴史展示室を市役所新館に開設する とびうめ国体の弓道を大野城市総合公園弓道場で行う 大野小学校開校百周年記念式を行う 県営牛頸ダム竣工式を行う (戸数 25557 戸 : 人口 74045 人)	
平成 5年	1993年		春日大野城消防署新庁舎で業務を開始する	
平成 6年	1996年		大野城市有料指定袋制を開始する	
平成 8年	1996年		大野城市中央公民館を廃止する 大野城市住居表示成績優良のため郵政大臣から感謝状を受ける	

			まどかびあが開館する	
平成 9年	1997年	J R大野城駅前都市計画道路、瓦田～白木原線が開通する 白木原公民館大規模改修を行う (戸数 2250 戸：人口 5332 人)	(戸数 31731 戸：人口 85275 人)	
平成 10年	1998年	赤煉瓦の第2分団消防格納庫を白木原から瓦田へ移築する		
平成 11年	1999年	中央コミュニティセンターが白木原に開館する	消防組合が、春日大野城那珂川消防組合となる	
平成 14年	2002年	(戸数 2790 戸：人口 6881 人)	市制 30周年記念式典を挙行 (戸数 32973 戸：人口 87342 人)	
平成 15年	2003年	西鉄白木原駅前の開発が完成する 公民館にエレベーターが設置される (戸数 2924 戸：人口 7142 人)	(戸数 33688 戸：人口 88548 人)	
平成 18年	2006年	J R大野城駅にエレベーターが設置される 老人会休憩室、物置の建て替えを行う(木造平屋) (戸数 3183 戸：人口 7733 人)	(戸数 36977 戸：人口 93318 人)	
平成 19年	2007年	西鉄白木原仮駅舎が完成(4月1日運用) 中央公園が完成(4月6日運用) (戸数 3171 戸：人口 7624 人)	市制 35周年 (戸数 37491 戸：人口 93725 人) 防犯青色パトロールカーが中央コミュニティに配属される(6月30日出発式)	

平成19年(2007年)7月 白木原公民館作成 担当：主事 北嶋靖弘

参考文献：大野城市史・大野城のいしぶみ

作成協力者：大野城市史編纂委員 赤司岩雄氏